

希望

やっぱり皇中がすき♡

【大津市立皇子山中学校だより】

令和 1 (2019) 年 7月19日発行
第3号 生徒数：758名

《 教育目標・めざす生徒像 》

「たくましく生きる生徒の育成」

「情操豊かな生徒の育成」

「社会性のある生徒の育成」

楽しい中、暑中、期末三者懇談会!ありがとうございました!

1学期末三者懇談会を7月12日(金)～18日(木)の4日間で実施しました。保護者の皆さまには蒸し暑い中、また、ご多用のところ、ご来校いただきありがとうございました。

中学校の「通知票」は、学習面における生徒の取組みを、一定期間いろいろな観点から捉え、そのがんばり・努力・評価できるところや、反対に、課題・今一步努力を期待したいところなどを5段階の数字で示しています。数字が高ければ嬉しいし、低ければ悲しくなる・・・一喜一憂は当然かもしれませんが、通知票の本来の目的はそうではありません。

今回の通知票をもとに、がんばったところをさらに伸ばす(得意にする)、反省すべきところはしっかり反省して苦手克服に努力する、つまり、次の一定期間でのさらなるがんばりや一層の努力・奮起を促すことを最大のねらいとしています。

長い夏休み!学習面の課題を乗り越えていくために「勉強をがんばる」という思いはもちろん大事ですが、気持ちだけでは実際なかなか長続きしません。三者懇談会での内容をもとに担任の先生と相談したり、家族で話し合ったりして、自分の生活面と結び付けて取組むことが大切になります。目標と計画性をもって、生活リズムが整った毎日・メリハリのある毎日を過ごしてください。

そして、2学期がスタートする時に「約40日間で自分は〇〇〇をやり遂げた!」などと、自分で自分の成長を胸張って誇れる夏休みにしてほしいと願っています。

夏休みをチャンスに!

■ 夏休みは、家族のきずなを見つめ直し、深めるチャンスです・・・!

思いやりにあふれた明るく、楽しい家庭は、**子どもの心を豊かに育てる出発点**だといわれています。忙しい毎日のなかでも、家族そろって囲む食卓や心のこもった食事は、家族の愛情を自然に子どもの心に伝えていくものです。和やかな雰囲気の中で会話をすること、そしてその繰り返し、無言のうちにきずなを深めることに大いに役立っていると思います。

おおつ家庭教育5か条

- 第1条 あいさつは 人とつながる 第一歩
- 第2条 朝ごはん しっかり食べて たくましく
- 第3条 伝えあう 会話で築く 家族の絆
- 第4条 抱きしめて 子に伝わる 親のまごころ
- 第5条 語り合い 努力かさねて かなう夢



■ 夏休みは、主体性・社会性・創造力を育むチャンスです・・・!

花火、夏祭り・・・夏休みは子どもにとって季節感を感じるイベントや地域行事も多いはずですが!? **サマーボランティア**など、いろいろなことにチャレンジするよい機会です。年齢の異なる子どもと遊んだり、幅広い年齢層の方とコミュニケーションをとったりするなかで、さまざまな、あたらしい発見があるのではないかと思います。

以前の研修会で、学校の諸問題に関わっておられる弁護士さんから聞いた話をもとにした文章です。毎年、この時期に掲載していますが、ご一読ください。



おもな部分を抜粋すると、「**愛着障害**」ともいべき親子関係における課題（例えば身体的・心理的な虐待ケースや養育が放棄されているネグレクト、また、家族が一堂に会して食事や話をする機会が少ないコミュニケーション不足など、いわゆる愛情不足など）の中で、子どもがストレスを感じ、さまざまな形で＜気になる行動＞が表面化するケースが増加傾向にある。

また一方で、その対極ともいえる、「**過プレッシャー型愛着障害**」に起因する課題（例えば、親や周囲のおとなの子どもに対するプレッシャーや支配力、期待が過剰なまでに強いなど）の中で、子どもが期待に応えているうちは問題が顕著にならないものの、一度失敗や挫折体験を経験したところに、過剰な期待が加わると、子どもはプレッシャーに耐え切れず、愛情要求の裏返しとしてさまざまな形でストレスを表面化させるケースも増加傾向にあるという内容でした。

人を愛せる子ども

どんなにつらいこと、悲しいことやさびしいことがあってもその人のそばへ行ったり、声をかけてもらったり、思い出したりすると心が和みます。**「心のよりどころ」**としている特定の誰かに甘えることで、キュッと閉じかけていた心がホッと和み慰められるのは、おとなも子どもも同じです。

とりわけ、子どもにとっては**「心のよりどころ」**が大切です。甘えられる存在がいることで、相手から受け入れられ、**「自分は愛されている」と実感**することができます。そして、その思いは「自分で自分自身が好きになる、自分を信じていいんだ」という**自尊感情や安心感の高まり**につながり、その自尊感情や安心感はやがて**「思いやり」**となって他者へも向けられていくといわれています。

長い夏休み、一度このようなことにも目を向けていただければと思います。

文責 島崎 輝久（校長）

大津っ子未来会議！～生徒会サミット～

生徒会から、副会長の伊吹 穂さん、総務の三井 涼暉さん、生活副委員長の江島 彩斗さん、保健副委員長の桐野孝太郎さんの4人が、8月1日（木）の会議に参加し、市内の他中学校の生徒と交流しながら、生徒会やいじめ防止など、皇子山中の取組みをポスターセッションの形式で発表してくれます。三井さんは8月20日の滋賀県いじめ問題サミットにも参加します。

がんばれ！サマーボランティア！！

300名を超える生徒が4学区の様々な地域行事などにボランティア参加します。定員の関係でいけなくなった人はごめんなさい。いろいろな体験や人とのふれあいを通して、ぜひ、この地域の素晴らしさや温かさを再発見してください。体調に気をつけて、がんばれ皇中生。